



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2012年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

mobile.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。

冠動脈にバイパス 宮内庁発表

天皇陛下 手術成功



天皇陛下

天皇陛下(78)は18日、入院先の東大病院(東京都文京区)で、心臓冠動脈のバイパス手術を受けられた。宮内庁によると、手術は成功し、予定通り午後3時ごろ終了。陛下は午後

3時55分に手術室を出た。執刀は、心臓を動かしたまま血管をつなぐオフポンプ術式の第一人者、順天堂大の天野篤教授を中心とした、東大と順天堂大の合同チーム

が担当した。手術終了後、陛下は集中治療室に移り、天野教授らが午後6時以降に病院で記者会見、結果を説明する。経過が順調ならば2週間程度で退院できる見通し。宮内庁関係者によ

ると、皇后さまは前日から病院に泊まりがけで付き添い、手術が終わるのを待った。長女黒田清子さんも18日朝に病院を訪れ、手術中は皇后さまと過ごした。皇太子ご夫妻は東宮御所で待機した。



冠動脈バイパス手術

老化などで冠動脈の血管内部が狭くなったり詰まったりした部分を迂回するように別の血管をつなげ、血液の新たな通り道(バイパス)をつくる。血管が

切開して行う。バイパス用の血管は患者自身の胸や胃の動脈を使うことが多い。術後2〜3週間の入院が必要とされる。日本胸部外科学会によると、2009年の国内の実施件数は約1万6500件。